



いじめ撲滅キャンペーンがスタートしました

第2回のいじめ撲滅キャンペーンが、9日(火)から始まりました。第1回と同じように、今回も PTCA 役員の方と子供達が一緒に正門前であいさつ運動を行いました。1学期のあいさつ名人の取組の成果もあって、立ち止まってしっかりあいさつできる人が多かったです。

これから、アンケートや個人面談を行ったり、道徳科の時間や学級活動で友達を思いやる気持ちの大切さを学習したりします。保護者の皆様にも先日アンケートをお配りしています。どの子も元気に笑顔で楽しく過ごすことができるよう、学校・保護者・地域で連携して取り組んでいきたいと思ひます。ご協力をお願いします。



にこにこ相談室



呉中央学園のいじめ撲滅キャンペーンでは、毎年、「呉中央学園にこにこ相談室」の取組を行っています。1～4年生の子供達は悩み事を4～6年生のにこにこ相談員に直接相談し、5・6年生は相談用紙に記入した内容について、中学生からアドバイスを返してもらいます。

にこにこ相談員は、事前の研修会でスクールカウンセラーの五明先生に「悩み事の相談にのるときの極意」を伝授していただきました。相談日には、真剣に話を聴き、一緒に悩み、一生懸命アドバイスを返そうとするにこにこ相談員の姿がありました。相談し終わって出てくる子供たちはにっこりすっきりうれしそう。相談を受けたにこにこ相談員は、「難しかった」との感想がありました。でもその表情は、満足そうでした。

「最優秀賞」になりました!

10月21日(日)に、第66回呉市小学生童話大会がありました。呉中央小学校からは、3年2組の上寺瑠依さんが出場しました。発表したお話は、松谷みよ子さんの「たべられた やまんば」。こんぞ(小僧)がやまんばに追いかけるのを、3枚のお札で何とか防ぎ、最後は豆に変身したやまんばを、まんまとおしょうさんが食べてしまうというあのお話です。

登場人物の様子や感情を、声色や話し方を変えて表現し、身振り手振りを交えながら、臨場感あふれる語りで、会場の皆さんを物語の世界に引きつけることができました。

結果は見事「最優秀賞」!参加者の中から1人だけの賞に選ばれました。9月から練習に練習を重ねてきた成果を発揮することができました。

